

30年間52の事業を起こし続けた新規事業立ち上げの達人による起業の教科書 『起業は意志が10割』（講談社）守屋 実 著 ～全世界全世代が同時多発的に進化圧を受けているコロナ禍の現在 既成の価値観が覆る今こそ「新たな事業の力」が必要となる～

約30年、新規事業創出のみに貪欲に向き合い、結果を出してきた日本屈指の“プロの新規事業家”“連続起業家（シリアルアントレプレナー）”と言われる守屋 実さんが、まったく予測ができない社会になった今こそ届けたいと書いた『起業は意志が10割』が講談社より5月10日に刊行されます。

著者の守屋実さんは、企業内起業17、独立起業21、週末起業14を手掛けた“起業のプロ”。本書にはキャリアのほぼすべてを新規事業立ち上げに注ぎ込んできた著者が持つノウハウやエッセンスが詰め込まれています。

序章では、新型コロナウイルス感染症蔓延以前のビフォー・コロナ時代からウィズ・コロナ時代におけるビジネスの変化が書かれています。第1章では、起業を考えている人に絶対に知っておいてほしい9つのポイントを挙げています。第2章では、起業で大事な3教科である新道德、新国語、新算数について解説。第3章では「失敗から学ぶ重要性」として失敗事例を。第4章では、現在著者が参画している新規事業の具体例を紹介しています。

コロナ禍で浮き彫りになった社会課題が山積する今だからこそ、「起業・新規事業立ち上げのチャンス」と語る著者が、起業や新規事業創出に対するさまざまな不安や疑問に答え、新たな事業を生み出す一歩を全力でサポートするために書いた教科書です。

読んだ人が社会課題を解決するための事業を創起しようと思える内容となっています。

【目次】

序章 ウィズ・コロナでなにが変わったのか？

第1章 起業に大事な9つのポイント

第2章 起業における必修3教科 新道德・新国語・新算数

第3章 失敗し尽くした先に学びがある

第4章 切り拓いている人の起業の物語

終章 あなたの真の強みはなににか

【著者プロフィール＊守屋 実（もりや みのる）】

1969年生まれ。明治学院大学卒。1992年にミスミ（現ミスミグループ本社）に入社後、新市場開発室でメディカル事業の立上げに従事。2002年に新規事業の専門会社、エムアウトを、ミスミ創業オーナーの田口氏とともに創業、複数の事業の立上げおよび売却を実施。2010年に守屋実事務所を設立。新規事業創出の専門家として活動。ラクスル、ケアプロの立上げに参画、副社長を歴任後、博報堂、メディバンクス、ジーンクエスト（ユグレナグループ）、サウンドファン、みんなの健康、ブティックス、SEEDATA（博報堂グループ）、AuB、TOKYOJP、みらい創造機構、ミーミル（UZABASEグループ）、トラス、日本クラウドキャピタル、テックフィード、キャディ、フリーランス協会、JAXA、セルム、FVC、日本農業などの取締役、顧問、フェロー、理事など、リクルートホールディングス、JR東日本スタートアップなどのアドバイザーなど、内閣府などの有識者委員、山东省工业和信息化庁の人工知能高次顧問を歴任。2018年4月にブティックスを、5月にラクスルを、2か月連続で上場に導く。4月にはセルムの上場に携わる。

～本件に関するお問合せ～

株式会社アップルシード・エージェンシー 丸山 隆子

携帯：090-1503-3123 メール：

takako@appleseed.co.jp

